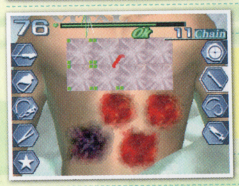
移植用皮膚

▶使用器具 ▶評価ポイント

火傷処置に使う移植用の皮膚または膜を作る術式。培養液（黄色の液体）をガイドで示されている部分に投与し、ガイドラインの四隅にある４つの点をメスですべて切れば１枚の移植用皮膚ができあがる。ただし、火傷の処置には一度に４枚の皮膚を使うため、最低でも４枚は作る必要がある。培養液を注射器目一杯まで吸引すれば、４枚は確実にガイドラインを表示させられるので まとめて投与したい。また、皮膚を切り取る際もまとめて切ったほうが効率がいい。



ガイドの範囲内に培養液を投与してガイドラインを表示させる。処置に必要とする枚数分、ガイドを表示させよう。



移植用皮膚を切る取るときは、四辺をなぞる必要はなく、点の部分にメスを入れるだけで切り離しが可能だ。

【手 順】

1	注射器	培養液を皮膚のガイド部分に投与する
2	メス	ガイドラインに沿って皮膚を切り離す

火傷

▶使用器具 ▶評価ポイント ○

火傷を治療する術式。火傷の上の血だまりを吸引しておき、４枚の移植用皮膚で１ヵ所の火傷を覆うように皮膚を置こう。あとはヒールゼリーで皮膚を定着させれば処置完了。移植用皮膚を乗せたときに血だまりが発生すると皮膚が剥がれてしまうため、処置する直前に血だまりを吸引し、素早く皮膚を乗せていこう。なお、火傷が悪化すると黒く変色した組織が発生し、組織の除去処置が必要になる。



移植用皮膚を乗せるときは、火傷の中央に置こう。自動で四隅に配置されるので、わざわざ四隅に置く必要はない。

【手 順】

1	ドレーン	血だまりを吸い取る
2	ピンセット	４枚の移植用皮膚を患部に乗せる
3	ヒールゼリー	４枚の移植用皮膚を定着させる

評価ポイントに関わる要素

- 血だまりが再発するまえに移植用皮膚を定着させる

黒く変色した組織

▶使用器具 ▶評価ポイント △

火傷を覆う変色した組織を取り除く術式。組織は患部に冷却剤（水色の液体）を投与し、ガイドラインに沿ってメスを入れて切り離すことで処置する。切り離した患部を回収トレイに乗せれば処置完了。組織処置後の評価は火傷を治療したときの評価に影響する。また、エピソードによっては、組織がさらに悪化するとびらん（43ページ参照）に移行する。



ガイドラインをなぞれば組織の切り離しが可能。火傷の処置も一気に行なえるように移植用皮膚を事前に作っておこう。

【手 順】

1	注射器	冷却剤を患部に投与する
2	メス	ガイドラインに沿って組織を切り離す
3	ピンセット	切り離した組織をトレイへ運ぶ

評価ポイントに関わる要素

- 冷却剤の効果が切れるまえに変色した皮膚を切り離す
- 変色した皮膚を落とさずにトレイへ運ぶ

びらん

▶使用器具 ▶評価ポイント

黒く変色した組織から変化した病巣を治療する術式。血だまりを吸引し、移植用皮膚を１枚乗せて定着させれば処置完了。びらん発生時は火傷の処置が必要なくなる。



黒く変色した組織が悪化すると、びらんが発生。組織と火傷がびらんに変わるため、火傷の処置は必要なくなる。

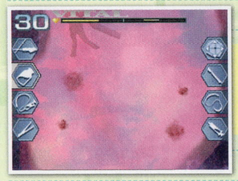
【手 順】

1	ドレーン	血だまりを吸い取る
2	ピンセット	移植用皮膚を患部に乗せる
3	ヒールゼリー	移植用皮膚を定着させる

出血

▶使用器具 ▶評価ポイント △

少しずつ吹き出す血を止める術式。患部にヒールゼリーを「Ok」と表示されるまで塗れば処置完了。治療法は簡単だが、位置を特定しにくいのが難点。一定時間経過で 血だまり、血だまり裂傷、大裂傷のいずれかに悪化する。



出血は見つけ次第優先して 素早く処置。初期段階では少量の血のみだが、時間が経つにつれて増えていく。

【手 順】

1	ヒールゼリー	患部に塗る

動脈瘤

▶使用器具 ▶評価ポイント ○

動脈に発生した瘤を摘出して治療する術式。この病巣は、発生とともに瘤が成長し、一定時間で破裂するため、複数発生すると厄介になる。動脈瘤の処置は、まず収縮剤（茶色の液体）を瘤に投与し、ガイドラインにメスを入れて患部を切り離す。切り離した瘤を回収トレイに乗せれば摘出処置が完了し、評価がなされる。瘤摘出後は、動脈のあいだの血だまりを吸引し、ピンセットで血管を繋げる。このとき血管周辺にある血だまりも吸引しないとピンセットの作業で「Miss」になりやすい。最後に血管を縫合すれば処置完了となり、２度目の評価が表示される。また、瘤を破裂させた場合は瘤摘出後の手順から行なうのだが、その後の処置をミスなく進めたとしても、処置後の評価は「Bad」になる。



複数の動脈瘤が発生した場合は、瘤を破裂させないためにも、瘤の切り離し作業のみをつぎつぎと行なっていこう。

【手 順】

1	注射器	動脈瘤に収縮剤を投与する
2	メス	ガイドラインに沿って瘤を切り取る
3	ピンセット	切り離した瘤をトレイへ運ぶ
4	ドレーン	血だまりを吸い取る
5	ピンセット	血管を繋げる
6	針と糸	血管の吻合部を縫う

評価ポイントに関わる要素

- 動脈瘤を破裂させない
- 正しい場所に収縮剤を投与する
- 収縮剤の効果が切れるまえに動脈瘤を切り離す
- 瘤を落とさずにトレイへ運ぶ
- 縫合線の長さが規定以上あり 左右幅が正確
- 縫合の折り返しの回数が規定以上ある